



美と安らぎを 提供したい

武内成子さん(54) 土浦教会

「いらつしゃいませ!」。「ほつみ美容室」を訪れた常連の女性客を、店主の武内さんが明るく迎える。女性は伸びた髪を整えてほしいという。武内さんは「傷んだところをきれいにしていきましょうね」と鏡越しに笑顔で答えると、コームでとかした髪に素早くハサミを入れていく。

美容室は母・宏子さん(77)から受け継いだ。この道を志したのは中学生のころだ。服のデザイナーに憧れていたが、「美容師もお客さまのヘアスタイルをデザインする仕事よ」との宏子さんのひとことで考えが変わった。都内の美容専門学校を卒業し、美容室で見習いとして働きながら国家資格を取得した。その店を退職した後は、二十歳で結婚し、宏子さんを手伝った。

店の看板を背負うことになったのは、二十六歳の

とき。宏子さんが大病を患い、常連客から「代わりに切ってくれない?」と頼まれたからだ。

当初は、「私の技術で満足してもらえたのか」と不安ばかりが募ったという。立正佼成会の信仰三代目の武内さんは、そんな思いを土浦教会の大法座で率直に打ち明けた。すると、取違恵代教会長(当時)から、「どんな出会いも仏のはからい」と感謝で受けとめ、真心で客と接する大切さを教えられた。以来、来店してくれる一人ひとりに感謝し、相手の要望に応えられるように心がけると、家族ぐるみで利用してくれる客が増えていった。

二年前、関節リウマチの治療中に肺サルコイドーシスという難病を患っているとわかり、塞ぎこんだ。武内さんに寄り添ってくれたのは常連客たちだった。「私も病院通いよ」と自らの経験を話してくれ

る人もいた。「病气や悩みを抱えながらも前向きにがんばっているみなさんから、勇気をいただきました」と武内さん。一つ一つの出会いが、自らの成長を促す神仏からのプレゼントだと感じている。

いま、元気になった母と娘の酒井千佳さん(30)の母娘三代で切り盛りする。リラクセスしたひとときをすごしてもらえるように、自らが育てた季節の草花を置き、常連客の好みのお茶を用意する。「ほつみ美容室」は、みんなの憩いの場になっている。



ほつみ美容室
〒300-3253
茨城県つくば市大曾根
3181-2
電話 029-864-1350



*立正佼成会経営者サンガネットワーク「六花の会」
<https://rikkanokai.jp/community/>
7月1日から上記HPでもこの記事がご覧になれます。